

パターン配本はありません。希望する部数での事前指定をお願いします。

人文書・文芸書ご担当者様

6月27日頃 取次搬入予定

はとり文庫 005

工藤庸子×蓮實重彦 〈淫靡〉さについて

文学のコスモス

ISBN 978-4-904702-67-3 / C0095 / A6判並製・240頁／本体予価 1,500円

2016年7月と12月に、工藤庸子編『論集 蓮實重彦』(羽鳥書店)と工藤庸子『評伝 スタール夫人と近代ヨーロッパ』(東京大学出版会)の刊行記念として行われた二つの対談。ともにフランス文学研究の第一線にあり元同僚でもある二人が、女性・フィクション・大学を軸に、近代から現代を縦横に語る。

工藤庸子渾身の『伯爵夫人』論も収録。

[目次]

Introduction にかえて

——功成り名を遂げた元総長がなぜ？

というごく自然な疑問をめぐるKYの独り言 工藤庸子

【対談】『論集 蓮實重彦』についてお話させていただきます

【対談】女性・フィクション・大学——スタール夫人×伯爵夫人

伯爵夫人のために——フィクション・映画・幽霊 工藤庸子

Conclusion にかえて

——ちょうどそのときたまたま

そこにいてくれたことの淫靡さを言祝ぐ 蓮實重彦

工藤庸子 (くどうようこ)

フランス文学者。東京大学名誉教授。『論集 蓮實重彦』(27人の「非嫡出子」による蓮實重彦論)の編者。

三部作『ヨーロッパ文明批判序説』『近代ヨーロッパ宗教文化論』『評伝 スタール夫人と近代ヨーロッパ』(2003, 2013, 2016、いずれも東京大学出版会)

蓮實 重彦 (はすみしげひこ)

フランス文学者、文芸批評家、映画批評家、小説家。

第26代東京大学総長、同大学名誉教授。

蓮實 (…)
すべてが露呈された「猥褻」さには悦びがともないませんが、「淫靡」にして「卑猥」であることには、どこまでも隠された部分がある。隠されているがゆえに「淫靡」で「卑猥」だといえるのかもしれないが、それではだめでしょうか。(会場笑)

工藤 わたしが返事を求められているのでしょうか？(笑)

はとり文庫

羽鳥書店

東京都文京区千駄木1-22-30 ザ・ヒルハウス502 〒113-0022
TEL 03-3823-9320 [担当: 矢吹]

FAX 03-3823-9321

番線印		書名	著者	本体	ISBNコード	冊数
	新刊	〈淫靡さ〉について	工藤庸子 蓮實重彦	1,500円	978-4-904702-67-3	
	既刊	論集 蓮實重彦	工藤庸子編	5,400円	978-4-904702-61-1	
		「ボヴァリー夫人」拾遺	蓮實重彦	2,600円	978-4-904702-49-9	
*『ユリイカ』2017年7月号では蓮實重彦 特集が予定されています。						

ご担当者名

配本の都合上 6月16日までに返信くださるようお願いします。

【取次】日販・大阪屋栗田・八木書店・大学図書 *トーハン他にも納品します。(返条付注文扱)